

上越教育大学学校教育実践研究センター 地域教育講演会

名立機雷爆発事件から学ぶ

2015年7月15日(水) 18:30~20:00



・・・ようやく這い出して、家の中を見ると近所の女性が手でおぶっていた子供が向こうへ転げ落ちていた。反対の海のほうを見ると、裏の風よけの板が一切なくなっていて、黒山のようにいるはずの子供たちは何処へ行ったのか？、ただ海が広々と見えているだけであった。少し石垣のほうへ出てみると、そこには多くの子供たちが血まみれになって倒れ、手や足が飛び散っていた。もうみんな死んでしまったと思ったが、2人の子供がやんわり起きだして「たすけてーたすけてー」と叫び始めた・・・

1949年、新潟県西頸城郡名立町（現上越市名立区）に漂着した国籍不明の機雷の爆発によって、多くの小中学生を含む63人が死亡しました。不幸にも、騒ぎを聞きつけた子供たちが巡査の到着とともに集まりだし、避難誘導をするための時間も人手もないまま爆発を迎えたことが人的被害を増やしたのです。死者のうち59人が未成年者でした。損壊家屋は103棟で、うち44棟が大破でした。

現存する事件当事者が高齢化する中、この事件を後世に伝えようと「名立・平和を願う日」実行委員会が生まれました。

同会では2014年（平成26年）から、毎年3月の最終日曜日を「名立・平和を願う日」として式典を開催しています。今回は、同会実行委員長の高橋良弘氏からお話をさせていただきます。語り継がねばならない平和教育をみんなで考えましょう。

会場 上越教育大学 学校教育実践研究センター

住所 〒943-0834 上越市西城町1丁目7-2

電話 025-525-9147 FAX 025-525-9860

<参加申し込み>

教職員の方

学校教育実践研究センターホームページから

一般の方

電話もしくはFAXでお名前をお知らせください。

